

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぴーす		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		~ 令和7年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日		~ 令和7年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢や立場にとらわれず、公平に何でも相談できる。	個々の利用者様の特性に配慮し、安全に活動を行っている。	ルールを重んじる。
2	物事をポジティブに考え向上心がある。	季節、行事に合わせた活動を行っている。	意見を否定せず、多様な価値観に触れる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	予想外のことへの焦りが強い。	新しいこと、応用すること、臨機応変に対応することが苦手。	障害特性について学べる機会を設ける。
2	会話が一方的になることや、相手の表情や動作に気づきにくい。	思い込みでの支援の危険性。本当に必要としている支援の見極め。	障害への理解を深め、感情を上手にコントロールする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 **びーす**公表日 **令和7年 3月 11日**利用児童数 **7名**回収数 **4名**

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	4					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。						実施予定がないため、割愛しました。
保護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2				2	配布資料で説明、周知してもらっているものもある。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1				新たな情報の収集等、研鑽を積んでいく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					

者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						保護者会を組織する予定がないため割愛しました。 今後、法人として、家族等が参加できる講習会等を活用し、家族間同士が交流できる機会が設けられるようにしたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3			1		連絡帳や送迎サブ等でのコミュニケーションでお話している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1				マニュアルを適宜見直し、周知していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1				連絡帳を通じて報告している。 実施日に利用日でない場合、後日学習時間を設けている。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 **ぴーす**公表日 **令和7年 3月 11日**

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		受け入れる児童の特性や支援・ケア必要度(量)に応じたスペースの調整を考え運営している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		法令順守し、適切である。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		視覚的構造化を取り入れている。 エレベーター設置。 不審者防止・児童飛び出しを防ぐため入り口ドアのWロック錠設置。 トイレは車イスの方も入れるスペース・手すりを設置している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		適宜、こども達に合わせた生活空間を作っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		いつでもフェードアウトできる環境を作っている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		毎日、職員・アシスタント間で話し合いを実施。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		引き続き実施していく。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎日のミーティングで意見を出し合っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9			第三者による外部評価を行っていないため割愛しました。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		非常勤職員の方も研修への積極的参加を推進している。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		法人HPIにて公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		ケース会議、毎日のミーティングで保護者様・児童のニーズや課題の共有をしている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		支援者会議を行い、周知している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		引き続き実施していく。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		確認している。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		引き続き実施していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	毎日のミーティングで意見を出し合い話している。	話しやすく開かれた環境設定をつくる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		児童の特性によって、固定化している部分もあるが、内容を変え、変化をもたしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		児童のその日の状況・状態に合わせて行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日ミーティングで、前日の児童の様子、現在の課題等を情報共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		気になることや伝達事項は、退社前に報告しあっている。細かな振り返りは、翌日のミーティングで行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		保護者様との連絡帳での日々の記録や業務日誌、ミーティング記録簿等でも毎日記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9		支援プログラムを通して、周知・実施している。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		児童がその日の振り返りを行える機会を設けている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童との関わりの深い担当者が実施している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		引き続き連携をとる。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		保護者様・学校ときめ細かい連携を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		必要に応じて行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		支援会議等を通じて、引継ぎを実施している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		管理者が必要に応じて、助言を受け、従業員にも周知してもらっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。				実施予定がないため、割愛しました。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。				法人代表の参加会議となるため割愛しました。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳・送迎時に直接お話を伺っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		保護者様のご意向に応じて実施している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		モニタリングや面談時、確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		引き続き実施していく。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		複雑な相談内容は、管理者の指示を仰ぎ支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9			保護者会を組織する予定がないため割愛しました。 今後、法人として、家族等が参加できる研修会等を活用し、家族間同士が交流できる機会が設けられるようにしたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情受付担当者及び責任者を置き、苦情や申し入れがあれば迅速かつ適切に対応できる体制をとっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		法人HP・ひこうせん通信で発信している。 事業所の活動は掲載していません。 個人情報保護も関係しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報の取り扱いについては、同意書を得ている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		配慮事項の共通理解を徹底している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	9			法人として実施しているため割愛しました。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		定期的にもマニュアルを見直し、周知していく。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		非常災害時の学習、避難経路確認等を行えている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		適宜把握している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		主治医診療情報提供書及び保護者様からの聞き取りを基に把握・対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		引き続き実施していく。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		安全計画マニュアルを説明し、周知していただいている。	

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		共有し未然に防げるよう努めている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		毎年2回以上行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		虐待防止・身体拘束適正化研修で、全体に周知している。 保護者の方に別途、説明・同意を得ている。 事例がある場合は実施する。	